

学校関係者評価

千葉県立鶴舞看護専門学校では、「平成 29 年度自己点検・自己評価結果概要」をもとに、学校関係者評価を実施したので、以下のとおり報告します。

1 実施年月日

平成30年11月21日（水）午後2時～3時40分

2 学校関係者評価会議出席者

近隣教育機関、近隣保健医療施設、実習施設、有識者（非常勤講師）、看護職能団体、卒業生に出席を依頼しました。

3 実施内容

事業概要、自己点検評価の結果説明、今年度の取り組みを報告し、質疑応答や意見交換を行いました。

《今年度の取り組み》

- ① 『ハラスメントの防止に関する規程』の作成
- ② 単位認定に関する規程の作成
- ③ 授業評価の取り組み、教員の相互研鑽のしくみづくり
- ④ 入学試験の際の面接の充実
- ⑤ 学校関係者評価会議の開催

4 学校関係者評価・意見

大項目ごとの評価は、適切あるいはほぼ適切との評価をいただきました。

評価等いただいた主なご意見は以下のとおりです。

| 大項目 | 主 な ご 意 見 等 |
|-------------|---|
| I 教育理念・教育目的 | ・多様な価値観を認識し、人間性豊かな看護師の育成を目指す、に共感した。 |
| II 教育目標 | ・目標をわかりやすく設定したほうが良い。 |
| III 教育課程 | ・社会性を育てるために教科外活動は素晴らしい。 ・看護学校は限られた人数と専門性があるが、少ない人数で実習や授業を行うため、自己研鑽の時間が取れない。教員の働く環境及び学ぶ環境を整えると良い。 |

| | |
|--------------|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> 自己研鑽をつむのは、時間内は難しい。時間外ではあるが、病院で開催する研修等への受け入れは可能である。 |
| IV 教育活動 | <ul style="list-style-type: none"> 国家試験合格率や就職率は成果としてとらえてよい。 国家試験合格だけでなく、看護師の能力向上を目指した取り組みがみられる。 基礎を学ばせないと臨床応用はわからない。基礎の強化をしなければならない。 学習癖をつけることが大事。看護実践項目を一覧に示した技術経験録や技術チェック一覧表があると確認できる。 実習先でのあいさつや振り返りなど時間を作れている。先生方の指導の意味が分かり、感謝するのは、卒業し経験を積んでからでしょう。 |
| V 経営管理 | <ul style="list-style-type: none"> P D C Aサイクルがしっかりと確立している。特に今後の取り組みは評価の正確な分析だと思う。 学校の経営ビジョンを掲げるとよい。共に手を取り、生徒の育成に協力していきたい。 大学にはない、ひとりひとりの学生の特徴や不足しているところが補える指導・教育と就職率に自信をもって宣伝していただきたい。 卒業生が先生を目指すようになると思う。 |
| VI 入学 | (記載なし) |
| VII 卒業・就業・進学 | <ul style="list-style-type: none"> 里帰り day への参加はリフレッシュの場となっているため、今後も継続してください。 臨床に出てから2、3年目ならではの悩みや現状もあるので、2年目等も里帰り day などがあるといい。 |
| VIII 地域社会 | (記載なし) |
| IX 研究 | <ul style="list-style-type: none"> 教員の研究活動についてももう少し示してほしい。 |
| 自由なご意見 | <ul style="list-style-type: none"> 学生の能力に合わせたご指導に苦慮されていることを改めて知った。臨床では、勉強する習慣も大切だがコミュニケーション能力も大切。人間性豊かな看護師の育成をよろしく願います。 |

5 終わりに

今後も、学校関係者評価会議を継続して開催し、学校外部からの評価をいただく機会を設けながら、学校活動全般に関する質の向上を図ってまいります。